一、九月十五日 午後一時より十六日午

| 連奏しあっている。 しかもたがいに | りまっている。

3 学新運動論の方法体系

Ø

に、その対象領域の分準を制約し 機能性 を本質的

闘争であれ、政治闘争であれ、そ 実践的獲得へと向う。これは社会

断線)。

・ 世界の一部では、大学の主ない。 1 2017で、新聞、雑誌、パンス、 2019、公然的である。 同いな、 2019年、文章、 2019年、文章、 2019年、文章、 2019年、文章、 2019年、文章、 2019年、文章、 2019年、文章、 2019年、文章、 2019年、2

催要綱

後八時まで

京都大学構内

①学新運動(基調報告)討論課題

まて連絡して下さい。 加学新は、九月十日までに、 宿泊は京大新聞で確保しますので、参②分科会―部落解放運動、学費闘争等

、京大新聞

の程圧に対する 反撃力 最の育 田連合の強化発展。 の組織性の再編と解決能力の獲

現在の情勢に派らして立論する

このことが学新運動の社会的性格

務方針の項に譲りたい)

(これらの問題については、任

す。全ての学生新聞は、今後の活動方針の確定をかけて、全力第二四全学新リーダーズ・キャンプを下記の要網で開催しま

の成果よりも、連合の先行的突出全学新運動の成果は、連合独自

1 学新論々争史の総括

産

という 規範を 負って 出発してい

学生新聞もまた、新聞としての つの対応をもって、これを見る、

然の欲求として協働的「他者」の

単新運動の任務方針

国統一への驱なる路程 た画期的な事変として、 に大きな突破口を切り 土と民族の分析に依っ

南北共同声明の発表は祖

よって、個別学新活動の発展

九七二、八、二〇

全日本学生新聞連盟

までもなく、連合活動の立脚点は

通形骸論」の再構成 通形骸論」の再構成

り、両者の有機的な環施ぬきに何

の実践論理として提出したことで

路線だけでは、突破しきれないさ 運動に課せられた任務をより散

まざまな困難性をわれわれにつき

やかな連合であり、主要に諸問題 た。その意味ではきわめて、ゆる イナミズムに依拠する形で出発し

開を連合を契機とする基軸性のな

その原理的再検討

の機能は、書かれた文字その他の

ラニケーションの媒体である。そ まっこかーションの媒体である。そ まっ 一交通手政」しかも、マス・コミ トー の学生新聞の機能性の意味と悪

第四回大会路線は、その組織際

現在的諸問題

並列的ではあるが、個別学新運

の処理と機能的諸謀題の解決を「

2

も、新聞というマス・コミュニケいった要素に規定される。 しか 能性、伝達のスピード、簡便さと大量生産の可能性、大量伝達の可

存在の問題ー学生存在論、教育過

つまり、公願わざるを

としてのサークル運動としての性

分等、であること回撃生

祖国統一の蘇明を受ける歴史的・順用わが民族に解放後、かつて以かった新作と新年を、とする子べての対象を問結したパで領局にに対対手、祖国統一の蘇明を受ける歴史的・順用わが民族に解放後、かつて以かった新作と新年を、とする子べての対象を問結したパで領局にはな

級的利害の解明、という課題であ 程論、サークル運動論(学生の階

ることに他ならない。

棒げようと燃える心情を抱いて、今日 この場に集まった。

ちあがっている。

の学新運動の戦略的把縦として

学新運動論

が、二十四回大会(8・12~同志・われわれば、第二十五回 大会

金し、大胆に大金を設定することに まって、その実践的結婚を進行さ 原 せ、日和見主義、情況主義の傾向 党 を爰終的に粉砕した。

時

空間的限界の突破を

が要請する「交通」を担い、かつ交当該交通領域の諸類の運動の展開

組織的にも、力量的にも飛躍しな

全国的連合の強固な推進

動は大衆運動に(反映的に規定さ)全国大会の開催さその任務―路の発送しなければならない。学新活)業務対策活動の開始―路の第25回 ような組織性をもった活動体へと一人数の専従者の設置。由本格的な一個別学生新聞運動は、まずこの一編―恒常的な書記局の開設と一定 される特殊な行動委員会である。「ア)の準備一路の書配局体制の再通手股の階級化を推進すべく組織」「の階級的交通手段」(全国メディ

焼がもたれた。

ないるかなかの国際で

れるのではなく)値有されるとい

・電学新運動の内 密的論 争に対

脂し、ガロ学者の紀集によってカ 体、運動性の喪失という状 社大学)後の全学新の組織的解

新運動の当面する諸問題 2 第25回大会以降の学 70年12月以降、一年八カ月の1

(編纂部)

一動の当面する諸問題を養理してお

第25回大会以降の

左推進によって突破する方向性 | た。そのこと自体、きわめて原則

学新運動の総括と

史的意識を経験主義的に演繹し、

現在的諸問題

まえてすべての先進的学新編集者がこのリーダーズ・キャンプに結集されることを、京大新聞 抜く学新活動のさらなる飛躍に向けて、四回大会路線の実践的深化が要請されている。 運動の水路を鮮明に切り拓いて営た。第四回大会以降一年半を経た現在、学新運動の時間的・ 主義など種々の日和見主義・状況主義的傾向の生命をいまだに許してはいるものの、闘う学新

第二回全学新リーダーズ・キャンプの基礎報告をここに掲載する。

学新リーダーズ・キャンプを開催することを決定した。

全日本学生

聞

連

盟

書記

局

七十年十二月の全学新第の回全国大会で鑑定された階級的交通形態という方向作は、没政治 金日本学生新聞連組(金学新)書記局は、九月十五・十六日に京都大学において、第二回全

それに伴う各数育過程における社 全それに伴う各数育過程における社、のとする政治闘争の行きづまりと、の

前分の屈曲によって、

200

政治 過程に対して客体的に構え

定基略性を破壊されたこと

る。すなわち、全共闘運動を基礎 なってき たこともまた 事実であ

わになったであろう

クラスコンパの御相談 割烹 き

スキヤキ・ナベ料理一切懐石料理・寿司・テンプラ よす

課せられている理論的作業の第 」活動の対自化を獲得しなけ

現在、学生存在の時間的制約は運 つべき持続的任務にしまし 運動の限界)。しかしながら よって切断されてきた(サ えし、その担い手の時間的制に 生運動の時間的部分性と共有に たよって、

勝級闘争の一覧を担 三新聞がその発展=対象領域 の学新活動の時間的展界性 へ的決意による突破 (ルン) だっている。この桎梏は 仕の社会的制約の突破と無縁

全く不十分であり、いいかえれば の政治的位置づけが、主体的には の政治的位置づけが、主体的には み出す、組織方針が要請されてい 蕎」を必然的な要素として把握。

る第一の条件であることもに、個 別学新の組織性の変革の条件でも、 ある。 会第一の条件であるとともに、個この問題は、連合の組織性に関

個別学新への規定性、さらに個別大学内部の大衆運動の発展貶賄の の学新活動の空間的展界性

デオロギー統一戦線」路線が学生省みると、第四回大会「反権力イ

全学新の過去の路線を歴史的に

うるのか。

*を含く以上、わわわれば念うゆる

*の会のにした「特種性」の後、スケールを果にして・推進するを要

動を設成にした「特種性」の後、スケールを果にして・推進するを要

を設成により、こう」との第一で、実際対策を開発されませる。 があるだろう。 は、その学術の交通領域である、学園―地域での設備情報の大衆運学園―地域での設備情報の大衆運など、に対ける労働的存在である。

界の突破である こと。またわ の連合(全芸術)活動の任務方 2 個別流動の任務方針

の活動体の連合においてなしろる的併存の統一展開は、唯一、個々 の組織性の強化―学新編集者 方針 、時期的空間的限

践的、共同的に必要と判断される 社会的設治的前進にとって、実学新の対象領域は、大衆運動の 「全て」である。

|軽空問題-路の技術的諸問題-略 の学術活動の政治的自立性 一略の 連合 (全学新) の任務

化-- 個別活動の交通機能の強化の しては全国で最初のものである。 の中林としての機能の飛躍的強 け、科学者、研究者の共同集会と 中枢としての全学新へと、連合はために、全国的な交通機能の神経 て開かれたものである。こりわ 国各地で、共同質明を支持

々な共同集会が行なわれている 分断されている事がられなけ苦しが、当日の集会やその一環とし みのもになっているかがわかっているかがわかった。

下から高博氏、総選傘下から具正 で まず、議長団として、民団傘 お

集会の基階報告が次のようになご の朗読が行なわれ、続いて、この 同問結で統一をめざすーは、統一 れた。(集会は討論以外は全て明 る。刃年間、外国の干渉で分断さ での経緯の説明と、共同声明全文 理念・社会制度を整えた民族の六最初に、南北共同声明が出るま 戦争に反対して平和的に、思想・ おいて、世界史的意義をもつもの で、特にその第一項目の三大原則 分の場で一歩一歩闘っていく。南 北共間声明は、分断された国家に 思想・ この後、祝賀会が開かれ、ビー

はならない。京大での様々な討論 われわれは具体的な問題を自分達

研究しているが、研究すればするための鍵である」「朝鮮経済史芸

京大の

の集会には、京大の絵連系・民団 大楽友会館一階パーラーにおいて・パ月十九日、午後七時から、京 「南北赤十字会談を祝賀して、南 (同胞の意味)科学者研究者

衆運動と学新活動の総体的貫徹で

籍者の約七割)が参加した。 これは、七月四日、南北共同声

会もたびたびもっていきたい」

と
けて、所属団体、思想を越えて、自

た。わたしは祖国統一の実現にむ

みのもとになっているかがわかっ た。その時はじめて、 末りの中で、民族的自覚をもっ 一韓日会談に反対する闘いの高

と、様々な人から痛のこもっ

「祖国の自主的平和統一万銭」「無)が読みあげられ、続いて、 ・制度を見て、自主的に統一し発言があり、特に、「思想・理会 討論の後、第四草案(資料要 という事が、共通して強

郵便装替(京都三九〇九)にてお願いしま、定期職義のお申し込みは、現金書留またけ

(子食む)

一日本人――の胎動を見つの中で人民共

し、共同国明が発表されて研究の

職 大同江

受難の "発禁" 漫画集 ニュース映画にみる敗戦前後 極秘資料「沖繩防衛対策」

研究者が共同集会

京大のみならず、京都、日本全国 を日本でも 打ち立て よう。 理念をうけつぎ、民族の大同団結

日本の広汎な知識人や青年とのにおいて広げていこう。また、

一在 日朝鮮人科 学者協 会東京

宮本日共体制を襲う新造反派 手記 岡本公三裁判への疑問 庄司 宏当弁護士

張島コンミュー ン論 松本健一

天泉の軍隊会 図>…

科学の進歩と思想の退歩……… | 実践の哲学と科学者の遺言

東京・京衛3-11現代評論社 総参照

祖国の自主的平和統一への巨歩はすでに脳み出され 内容を円滑に推進するため

ク論 ス現 主代

ツィ解へ さし 発力 タルス・インド ŀ 叛乱 わが 1917年夏

小社の *

パル ス タ 自然が 書

生

知板

が自分の子森に対して責任をもた れたばかりで、すべてはわれわれ かいがあったと思う。それは、世 ったことを、今、私たちがやるの しかし、まだ門戸が開立

京都大学新聞

京都大学新聞社

| 七六一十二〇五四

定期購読のおすすめ □「売産」「売合」|-沖縄ルポー本紙沖縄特派員□「売産」「売合」|-沖縄ルポー本紙沖縄特派員

最近の紙面から

□「アルチュセール・その哲学的仕事」 今村仁司
□報告ー燃えあがる師時労働者の疑い |公害・労災シンボー階級的公害闘争へむけて--全三回

井上由雄

われわれの退像を絶する早さで進 た。朝鮮人同志で、思想・理念・ に、対話が進み統一が実現できる 「祖国の統一は訳さに近い。共

特集: 戦争と記録

新ジャーナリスト競(網島洋子) 小沢遼子 逆流した歴史は終末から始まる 山野浩一

の集まりがもたれた。共同声明の

同声明支持の懇談会がもたれ、そ

南北共回西明は万づけとなり、

しづつ緩和し、祖国統一を自力で

全民族の闘いの頃の上に大きな突

歴史的複義は、祖国統一をめざす

を解消し、団結して自分たちの力

** 転向論―思想の持続と転回

熊沢京次郎

電二九三9821銀刷16266 鹿 砦

社

その実現の

のでは、 のでは

その未来反映されており、とくにその第一条項で明ら

会的な交通形態を創出する武器とわれわれば、学生の問題的、社 この路線のもとに、設定される町して学生新聞活動を扱っている。

原則的任務方針

を持ったすべての同胞の切実な念願と共通の志向が、

な任務方針は、なの二点にま

まさに、それ故に南北共同声明は公布された。その

老

これは民族至上の命令であり、歴史の流れである 統一へ向かつ民族の壮敬な行班がここに始まった。 祖国統一の夜明けが刻々と近づく。

こぞって、この力強い奔流に合流し、光輝く歴史の

勇気を与えてくれた。 実に輸北共同声明の一条項一条項には、民族の長心 をあたとせます。 特熱のすべてを捧げずにおられようか/ 情熱のすべてを捧げずにおられようか/ 祖国統

と民族の将来の繁栄のために、科学と真照を探究して 京大ウリ科学者研究者の共同の集南北共同声明を熱烈に支持する「東北赤十字会談を祝賀して 一の願が開かれ始めた。この歴史的瞬間に祖国に、日常的な運絡機関を設けること。

おわれ物学者・研究直接中心・ 4日 東元の大くての研究は自分的できなかい、の多方面がは必要を担して用意して自意がよりません。

おおように、大会の表で、カニー・大変になって、実際によりの意味を必要によります。

日本音文学館、大会の表で、カニー・大変になって、実際によりの意味を必要によります。

日本音文学館、大会の表で、カニー・大変になって、実際によりの意味を必要によります。

日本音文学館、大会の表で、カニー・大変になって、実際によりの表である。

日本音文学館、大会の表で、大会の表で、大会の表である。

「本名学の表で、上の子で、大変により、大変になって、大変によります。

「大変により、大変になって、大変により、大変によります。

「大変により、大変になって、大変により、大変になって、大変により、大変になり、大変になり、大変により、大変になり、大変により、大

われわれは以上の宣言

型なる協業を積極的に支持 の自主的平和統一のための 認識帯を強化し、かれらが極国 声接するよう呼びかけるこ

左党 社会 1917-1921年

翼闘 左 マ史 戦

多角的平和共存一階級協調を軸に符纂するものであった。「一国において社会主義注釈を完了 ペトナム草命の無核的勝利局面における、米甲、米ン余渓は、帝國主義の世界支配の枠組を

ては、先進帝国主義諸国と

70年12月。ポーランド労働者決起を中心に

もった深部からの胎動ーを明確に 転機―世界同時水統革命への巨大な である。 的発達が、現在中国・ソ連・

こなるものは、直接には「武いわゆる対話・国交正常化

発達した資本主義諸国における大一アの天然ガスを開発して日本とソ

勢が温室してはいるが、現在においてもその業績はそれに地分明えつると思われることを何記 のについて分析されたものである。なお、本稿が審かれたのは、昨年二月であり、その間、情

また大量の労働者が解

一週顕程ポーランドに將在し、

分類音反乱の敵味である

家・学者等の見解が出されてい すでに 半二月暴動/

しかし、いずれも現象論的

その金を使ってヨ

ソ連圏内部の貿易におい

マメコンの動揺が背景に

無宣言、あるいは戒穀令状態が敷

シ第一書記は "労働者階

世界市場への勝和、屈服のほ



八年ナニコ事件は「経済の「銀評価の指標としての企業利額が「

世界市場に屈服する東欧・ソ連 图

現は一窓は切り数ぴたかにみえ、画の指標を終らして企業に「自主になけっと、中主政府の決める計した。」というと、財主政府の決める計した。「のような国内における対な、かあげると、中主政府の決める計した。」

つまり価格の決定に関する中央 いたものから利子を取るこ

生産手段を労働者や地域住民の 無 以下のようになろう。 それに対してユーゴ型の場合は 物を作るか、どのように作るかは的所有」なるものにして、如何に

・東欧圏の政治・経済の構造的形

流にある労働者権力の志向

養足上に、現在の虧一労養者気内 ンド労働者の政治的状況を緩縮的 内閣間に、健康アメリカリーこと、このように社会、政治養成があー対象と伝っていることは、ボーラー会主義」に第<コスコン体別の会

しの連帯と団結を換起している

東西協調、に抗する反乱

はどのような過程を加えて プロ・ハンガリア・ボ ところでチェコ事件および今度

▲は売として展民、 機村に、 B

(おわり・いしかわれんじろう

なお、雑日は直接関係ありませんが、農林省機械団権外部長 丸部窓氏、およびノ連・原収質 丸部窓氏、およびノ連・原収質

集 に 員

本稿の参考文献

鮮烈な感性を持った一・二回生諸君 自らの存在に閃光を放て! 西部構內 761-2054

労働者決起はソ連・東欧سスター たのだ。この意味においてもごの たのだ。この意味においてもごの

定期購読のおすすめ

ツ・ボーランドはついに三十年なの「東西の対話」の進行(西ドイ 結と調和に向う世界資本主義の

日本経済新聞社一九六九年 日本経済新聞社一九六九年 「世界電船運動情報、陥一九、

二五二世界革命研究会レポ

の過程にソ連・東欧圏をま言込出

1000円 購読 1800円 年間 2 3 年間 2600円 料 年間 3200円

◆ 便利で廉価な定期購読を

※ お申し込みは、現金書留または郵便振替 (京都3909) にてお願いします。

通刊 1 30円 京都大学新聞

京都市左京区合田 京都大子等 TEL (075) 761 — 205

■四六粒・予価」、1100円

菊池

十月革命への挽歌 十月。車命は神話だったか?

旗は大地とともに

빔

武秀

四六年・0000円

結

社 浩 政治論集

ځ

技

術

クセンブルク論集

ザ

ル

新装版・480円

性の抑圧と革命の論性

۲

上理論を頑なに守り、ために精神分析学 片岡斯治訳 国内大学・のの〇円

この計画の内容は一口に

ト門下の難児でありながら初期プロイト

性道徳の 出現

青況出版

ウィルヘルム・ライヒ **人類学的視点からするフロイト批判**

の一指標とするーユーゴ型的地 地、利翻船分の単位に地域もそ 性、利翻船分の単位に地域もそ で、利翻船分の単位に地域もそ

の積極的貿易なども明記されて

書店にない場合には直接
小社までお申込み下さい